

## 「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

大興製紙株式会社 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会  
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン&クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 第2世代エタノールについて、サステナビリティを有しているかという点も含め、如何に価値を付けるか、課題感を持ちつつ、標準化・ルール化に向けた取組を進めていただき、モニタリング資料等にも反映をしていただきたい。
- ・ 酵素供給について、今後の市場への展開ということも念頭に、本事業の他テーマに参画する企業への提供等連携の端緒にしてほしい。
- ・ 製紙・パルプ業界全体で業態変更していかないといけない。業界の中で競争と協調を上手く線引きをして全体で生き残る戦略を検討してほしい。

以上